

令和6年度

事業報告

社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会

(1101)法人運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	法人運営事業	法人運営全般	第1層(全市)
収入(円)	会費	寄附金	その他の収入	負担金収入	受取利息
	3,239,500	65,776	20,801	16,100	26,840
	雑収入	その他の活動収入			計
	336,076	20,448,575			24,153,668
支出(円)	人件費	事業費	事務費		
	7,601,268	1,868,422	2,590,064		
	サービス区分間支出	退職積立	過年度修正額	当期資金収支差額	計
	91,000	360,750	10,077,780	1,564,384	24,153,668
事業概要	予算・決算・補正予算の決議、法人運営				
事業報告	①毎月収支報告書の提出 ②事業収入の安定化 ③事業経営の透明性の確保				
	理事会	日・出席人数	内容	日・出席人数	内容
		6月4日	令和5年度決算・事業報告、財産目録 補正予算(第1次)	12月12日	令和6年度補正予算(第3次)
		理事9・監事2		理事11・監事2	
		9月10日	令和6年度補正予算(第2次)	3月13日	補正予算(第4次)、令和7年度予算、事業計画、経理規程の一部改正
		理事10・監事2		理事10・監事2	
	評議員会	日・出席人数	内容	日・出席人数	内容
		6月20日	令和5年度決算・事業報告、財産目録 補正予算(第1次)	12月24日	令和6年度補正予算(第3次)・理事承認
		評議員18 理事3・監事2		評議員15 理事4	
		9月27日	令和6年度補正予算(第2次)	3月27日	令和6年度補正予算(第4次)・令和7年度予算
		評議員17 理事3		評議員18 理事2	
	内部監査:5月24日(決算監査) 11月19日(中間監査) 役職員研修(サマーセミナー):8月23日 「身近な存在となる社会福祉協議会となるために」 金城大学 内慶瑞 氏				
R6振り返り	勝山市から受託している事業の中で、一部課税対象となる事業がある事が判明し、5年遡って消費税を納めた。				

(1102)退職積立金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	退職積立金事業	退職積立金事業	第1層(全市)
収入(円)	各階層より	取崩し収入	積立基金預け金差益		計
	4,343,750	4,700,030	145,780		9,189,560
支出(円)	退職給付支出	退職手当差損	退職給付預け金		計
	4,845,810	0	4,343,750		9,189,560
事業概要	全国社会福祉協議会が運営する退職積立基金事業と契約加入し、退職金として積み立てている				
事業報告	全社協へ、退職金掛金を納付 総額 4, 343, 750円 退職給付積立基金預け金 54, 447, 010円 退職給付引当金 71, 569, 741円 1名退職				
R6振り返り	1名の退職者があり、退職金の給付を行った。 1名採用し、加入手続きを行った。				

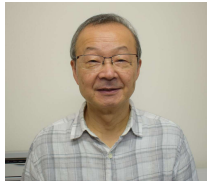
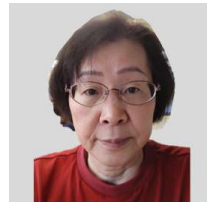
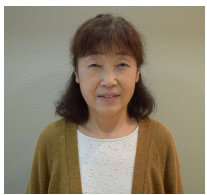
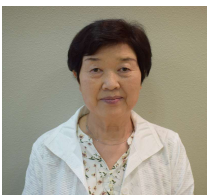
(1103)社会福祉事業基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	社会福祉事業基金運営事業	社会福祉事業基金運営	第1層(全市)
収入(円)	寄附金	受取利息			計
	28,868	86,781			115,649
支出(円)	社・基金積立金	法人運営事業へ			計
	28,868	86,781			115,649
事業概要	社会福祉事業寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業報告	社会福祉事業基金 受入れ 5件 28,868円 合計 202,985,713円				
R6振り返り	福井県公債へ投資し、基金の運用について努めた				

(1104)ボランティア基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	ボランティア基金運営事業	ボランティア基金運営	第1層(全市)
収入(円)	受取利息				計
	613				613
支出(円)	法人運営事業へ				計
	613				613
事業概要	ボランティア基金寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業報告	ボランティア基金 受入れ 0件 合計 8,725,201円				
R6振り返り	現在寄附金は、ボランティア基金ではなく、社会福祉事業基金での受け入れを優先している				

(1201)地区社協活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地区社協活動事業	地区社協事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市補助金				計
	4,620,000				4,620,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	154,000	51,000	4,415,000		4,620,000
事業概要	住み慣れた地域でいつまでも暮らすことを目的に、小地域での身近な福祉活動拠点としての役割を持ち、きめ細かな福祉を展開する				
事業報告	・地区社協コーディネーター会議 年間12回実施 コーディネーター会議の地区持ち回り制を導入				
	開催日	開催担当地区	開催場所	コーディネーター紹介(敬称略)	
	4月1日	市社協	すこやかホール		
	5月7日	平泉寺	まちづくり会館		
	6月3日	鹿谷	そら	勝山: 阿部	
	7月1日	荒土	まつや	勝山: 大道	
	8月5日	野向	あまごの宿		
	9月2日	遅羽	縄文の里		
	10月7日	勝山	教育会館	北谷: 石井	
	11月5日	北谷	コミュニティセンター	遅羽: 牧野	
	12月2日	猪野瀬	こうみん館		
	1月6日	北郷	すこやか第1会議室		
	2月3日	村岡	まちづくり会館	猪野瀬: 水谷	
	3月3日	市社協	すこやかホール	村岡: 花田	
					
					
					
					
					
	平泉寺:大林 荒土:谷口 北郷:松川 野向:滝本 鹿谷:宇佐美				
	・地区社協会長会 1回実施 (3/14 すこやか第1会議室)				
	・地域個別支援 ※地域課題への対応や研修、企画の相談等随時				
R6振り返り	地域個別支援では、各地域の事情や環境に合わせて研修会等の企画、運営支援や、地域での困りごと対応、また、地域課題への対応等もコーディネータと共に考え、事業を行った。地域課題は様々で、必ずしも横並びにならないことの共通認識、共通理解を個別支援やコーディネーター会議を通して共有することができた。福祉教育活動においても、学校ごとの取り組み内容に応じて、コーディネーターから地区社協の役割について話してもらう機会も設けた。モルックをツールとして、サロン等で広めた結果、多くの方が参加・挑戦した。				

(1202)給食サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																																																							
	法人運営事業	地域福祉推進事業	給食サービス事業	給食サービス	第3層（地区社協）																																																							
収入（円）	市受託金	利用者負担金			計																																																							
	3,322,620	1,318,500			4,641,120																																																							
支出（円）	人件費	事業費	助成金		計																																																							
	600,000	876,720	3,164,400		4,641,120																																																							
事業概要	65歳以上の①一人暮らし②高齢者のみの世帯③高齢者と障害者のみの世帯で調理が困難で見守りが必要な人に対し、各地区社協ごとに給食サービスを提供する																																																											
事業報告	<table><tr><td>地区</td><td>勝山</td><td>猪野瀬</td><td>平泉寺</td><td>村岡</td><td>野向</td><td>荒土</td><td>北郷</td><td>遅羽</td><td>鹿谷</td><td>北谷</td><td>合計</td></tr><tr><td>登録者数</td><td>121</td><td>8</td><td>11</td><td>36</td><td>23</td><td>16</td><td>10</td><td>17</td><td>11</td><td>5</td><td>258</td></tr><tr><td>回数</td><td>45</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>22</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>22</td><td>14</td><td>247</td></tr><tr><td>食数</td><td>2,559</td><td>184</td><td>231</td><td>735</td><td>467</td><td>350</td><td>171</td><td>335</td><td>219</td><td>23</td><td>5,274</td></tr></table>												地区	勝山	猪野瀬	平泉寺	村岡	野向	荒土	北郷	遅羽	鹿谷	北谷	合計	登録者数	121	8	11	36	23	16	10	17	11	5	258	回数	45	24	24	24	22	24	24	24	22	14	247	食数	2,559	184	231	735	467	350	171	335	219	23	5,274
	地区	勝山	猪野瀬	平泉寺	村岡	野向	荒土	北郷	遅羽	鹿谷	北谷	合計																																																
	登録者数	121	8	11	36	23	16	10	17	11	5	258																																																
	回数	45	24	24	24	22	24	24	24	22	14	247																																																
	食数	2,559	184	231	735	467	350	171	335	219	23	5,274																																																
・合計5,274食の配食を行った。弁当を配達することにより安否確認を行った。																																																												
・5/22「給食サービス関係者衛生講習会」開催 70名参加																																																												
・地域によっては、業者弁当を選択した地域もあった。																																																												
・平泉寺地区と遅羽地区で「給食サービスの利用」について民生委員や調理ボランティアに説明した。																																																												
R6振り返り	給食サービス利用の条件について、民生委員や調理ボランティアで解釈が曖昧な地域があり、説明会を行ったことで、共通理解が図れ、利用者増にもつながった。利用が増えることは喜ばしいが、調理ボランティアの確保が困難という課題を持った地域もあった。 物価が高騰しており、各地区ごとに十分工夫されているが1食600円ではお弁当作りが大変だという地区や業者の声もあり、今後の検討課題となる。																																																											

(1204)地域福祉救援活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉救援活動事業	福祉救援活動事業	第1層(全市)
収入(円)	県共募補助金	共同募金	雑収入		計
		242,000	116,200		358,200
支出(円)	人件費	事業費	事務費	当期資金収支差額	計
	0	10,278	39,600	308,322	358,200
事業概要	災害に備えた物資の準備並びに研修への参加。また、災害発生時は災害対応のための資金調達や災害ボランティアセンターの立上げ・運営、さらには職員を現地に派遣する等を行う				
事業報告	●勝山市災害ボランティアセンター連絡会 今年度は開催なし ●研修会の開催 ・勝山市、地域防災組織連絡会と共同で、福井大学医学部 地域医療推進講座 教授 山村修氏を講師に招き、「避難所ってどんなところ？」～地域で災害に立ち向かおう～の講演会を開催した(3/22) ●被災地派遣:石川県輪島市(2名) ●福井県社会福祉協議会 令和6年度市町社協災害時福祉支援活動強化研修会に参加(2/17～2/18) ●地区社協にて防災研修 市社協職員が講師となり、防災や平時からのつながりの大切さを伝えた。 ・黒原サロン(6/22)、五本寺サロン(7/28) ●「災害時における相互協力に関する協定締結」 ・勝山ライオンズクラブ、勝山市、勝山市社会福祉協議会と「災害時における相互協力に関する協定」の締結(毎年自動更新) ・勝山青年会議所(JC)、勝山市、勝山市社会福祉協議会と「災害時における相互協力に関する協定」の締結(毎年自動更新)				
R6振り返り	勝山市災害ボランティアセンター連絡会が開催できなかったため、令和7年度はきちんと開催していきたい。 勝山市、地域防災組織連絡会と共同で、避難所の現状を知ることができたことはよかった。				

(1206)住民参加型在宅福祉サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	住民参加型在宅福祉サービス	住民参加型在宅福祉サービス和美さん	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	前期末支払資金残			計
	0	15,880			15,880
支出(円)	事業費	過年度支出			計
	14,080	1,800			15,880
事業概要	住民の相互扶助を推進することを目的に、サービスを有料制で行い、在宅福祉の増進を図る				
実績報告	協力会員	0	派遣延件数	0	
	利用会員	0	実働時間	0	
R6振り返り	今年度利用なし。 チケット事前購入の為、払い戻しの対応をした。 R7年度より、事業終了の方向にすすめる。				

(1207)地域ふれあいサロン事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地域ふれあいサロン事業	地域ふれあいサロン事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市受託金				計
	4,540,000				4,540,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金	返還金	計
	450,000	309,500	3,647,000	133,500	4,540,000
事業概要	高齢者の生きがいや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止を目的に集まれる場所の提供				
事業報告	各地区サロン実績				
		地区名	R6年回数(内補助金なし)	高齢者数(人)	R5年回数(内補助金なし)
	★	勝山	103回(4)	2,691	130回(8)
	★	猪野瀬	58回(1)	1,389	53回
	★	平泉寺	62回(13)	576	33回(2)
	★	遅羽	74回(1)	622	73回
	★	村岡	95回(5)	2,026	89回
		北谷	10回	151	5回
		野向	31回	616	38回
		荒土	93回	1,103	86回
		北郷	98回	1,238	117回
		鹿谷	39回	743	38回
		合計	663回(24)	11,155	662回(10)
	・★は助成金なしのサロンを実施した地区 ・口腔ケア講座、レクリエーション講座(謝金は市社協負担)を各地区1回ずつ開催				
R6振り返り	地区社協コーディネーターと市社協とで講師調整やサロン内容企画相談等で活動増や継続の後押しを行った。 補助金なしでのサロン開催に取り組んだ地区社協がR5年度は2地区だけだったが、今年度は5地区に増えた。				

(1208)日常生活自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	日常生活自立支援事業	日常生活自立支援事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金	利用料収入	貸金庫利用料	前期末支払資金残	計
	7,569,000	1,300,800	15,000	122,154	9,006,954
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金
	8,283,105	406,178	35,671	0	282,000
					計
					9,006,954
事業概要	自立して地域で生活が送れるよう、福祉サービス利用、日常的な金銭管理などを支援				
事業報告	●相談件数等 ・相談件数 延2285件 (R5 1626件) ・契約件数 7件[認知症等5件、知的2件] (R5 8件) ・成年後見制度への移行数 2件(R5 0件) ・総契約数 91件[認知症等42件、知的28件、精神7件、その他14件] (R5 89件) ●広報・啓発事業 ・社協からこんにちは(広報紙)に事業説明を掲載 勝山市内全戸(8,000部) ●生活支援員研修会 ・令和6年度福祉サービス利用援助事業 生活支援員研修会 令和6年11月29日(金) フェニックスプラザ・8名参加 「意思決定支援について」 : 講師 竹澤 賢樹 氏 - 令和7年3月26日(水) サンドーム福井・5名参加 「生活支援員に求められること」 ●関係機関との連携 ・ふくい嶺北成年後見センター (フェニックスプラザ) ・奥越地区障害者自立支援協議会 発達障害・教育部会 (すこやか) ・障害者自立支援協議会相談支援連絡会 (すこやか・結とびあ) ・利用者別会議、モニタリング参加				
R6振り返り	地域の関わりが薄く孤立して生活をしている・親族と疎遠等々で、独居の方が増加しているなかで、必要な福祉サービスを利用できていない人が多いと感じた。自分で将来を見据えた生活(収支計画等)の理解が難しく、将来的に地域での生活が難しくなる可能性がある利用者に、今のうちから備えていけるように支援していく必要性を感じた。 判断能力がなくなった場合は、関係機関と連携をとり本人にふさわしいサービス(成年後見制度等)につなぐ必要を感じた。 独居や家族関係の希薄により、家族や親族を頼ることができない方が多くなっており、サービスを越えた地域支え合いの仕組みづくりや関係機関との連携が必要であり、次年度も継続していく。				



(1209)福祉総合相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉総合相談事業	福祉総合相談事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,500,000				1,500,000
支出(円)	人件費	事業費			計
	300,000	1,200,000			1,500,000
事業概要	法律、労働、年金の専門相談を実施。一般相談は職員が随時対応し、専門機関につなげる				
事業報告	●年金労務相談17件(前年度 11件) 【毎月第1水曜日9:00～13:00 年間12回開催】				
	●法律相談100件(前年度 99件) 【毎月第2水曜日(13:30～16:30)第4水曜日(9:00～13:00) 年間24回開催】				
	●心配ごと相談19件(前年度 8件) 【月～金曜日平時の相談については職員が対応】				
	●夜間相談0件(前年度 0件) 【毎週水曜日18:00～20:00(要予約)】				
R6振り返り	心配ごと相談は常時職員が対応した。生活や家族、相続などの多問題相談が多く見られた。また、何度も相談される方もいた。適切な機関につなげることができた。				

(1211)家族介護支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	家族介護支援事業	家族介護支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金	過年度修正			計
	16,560	5,400			21,960
支出(円)	事業費	当期資金収支差額			計
	52	21,908			21,960
事業概要	介護の専門家を対象家庭に派遣し、介護の方法の指導や相談を行う				
事業報告	●依頼回数3回 ●内容 移動介助、室温調整、食事作り、排せつ介助、食事介助方法、着替え、ベッドの高さの ことについて(食事介助の際の高さ、姿勢、また体位を整えることを伝える)腰痛予 防の介護の方法について				
R6振り返り	利用者の急激な体力低下により、介護の困り事が発生したが、この事業を利用し介 護技術やストレスの軽減など精神的な面でのサポートを行ったことで、サービス利用 につながるケースもあった。				

(1212)訪問型サービスA事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	訪問型サービスA事業	訪問型サービスA事業	第1層(全市)
収入(円)	介護保険事業	利用料	前期末支払資金残		計
	55,998	6,222			62,220
支出(円)	人件費	事業費	当期資金収支差額		計
	34,607	17,599	10,014		62,220
事業概要	介護認定の対象とならないが、勝山市が家事の一部援助が必要と認めた方への必要な家事支援				
事業報告	軽度な家事援助(買い物・掃除)を訪問介護員が行った				
		令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
	利用延べ人数	12名	12名	12名	14名
	述べ訪問回数	51回	51回	51回	57回
R6振り返り	令和6年度は買い物支援サービスのみの提供に留まった。 今後、この受託事業の継続について検討が必要である。				

(1301)ボランティアセンター運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	ボランティアセンター事業	第1層(全市)
収入(円)	チャリティー映画収入	受取利息	雑収入	サービス区分間	計
	152,304	1,192	10,500	88,000	251,996
支出(円)	事業費	当期資金収支差額			計
	140,152	111,844			251,996
事業概要	ボランティアセンター運営委員会の運営。企画・広報部会の開催。ボランティア活動団体、個人を活動先とマッチングする。依頼・活動相談、保険の窓口となる。また、ボランティア育成のための研修を実施する。収集活動。				
事業報告	●ボランティアセンター運営委員会 5回(内、全体会3回、企画部会1回、広報部会1回) 【主な活動内容:福祉学習交流会、ボランティア研修会、ボランティア団体交流会、チャリティー映画会、すこやかフェスタ出店】 ●勝山ボランティアセンター広報活動 ①ココドンストラップ【500個作成、残281個】 1コ1,000円で販売 ②ココドンクリアファイル【3000枚作成、残1106枚】1枚100円で販売 ③ココドンLINEスタンプ【1セット(40個)】120円で販売 ④ココドンスタンプ作成(6種類)各小中学校にも活用してもらう ⑤ココドンシール【5000枚作成、残3780枚】2枚1組100円で販売 ⑥ココドン付箋【1000個作成、残437個】100円で販売 ・ココドンかぶりもの作成 ・市民啓発推進事業 年6回「社協からこんにちは」紙上に情報掲載       ●ボランティア活動保険加入者 【基本プラン 350円】904名【天災プラン 500円】14名 合計918名 ●ボランティア相談・依頼 26件(内容:ゴミ出しボランティア依頼・調整、ボランティア団体活動調整、福祉避難所ボランティア相談、ボランティア保険申請相談、いきいきボランティアポイント相談 等) ●ボランティア研修会(19ページに掲載) ●ボランティア団体交流会(19ページに掲載) ●収集活動 [エコキャップ]福井テレビへ運搬 年5回 運搬数約504,000個(ワクチン約586人分) [使用済みカラープリンターインク]買い取り業者へ輸送した [ベルマーク]ベルマークを収集している学校へ寄贈した [使用済み切手、使用済みテレホンカード、未使用文房具]市社協窓口で回収し、誕生日ありがとう運動本部へ輸送した ●第39回チャリティー映画会「銀河鉄道の父」3/8上映 <入場者数> 午前の部331名、午後の部135名 計466名				
R6振り返り	ボランティアの方の活動先を広げるため市内介護施設等へ受入について確認し、活動先の紹介と実際の活動に繋げる事を行った。 ボランティアセンターを多くの方に知ってもらうため、ボランティア研修会の案内を送付する際に、ボランティアセンターのチラシも同封した。				

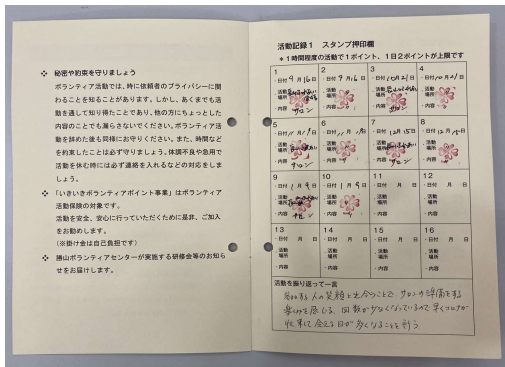
(1302)預託配分事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	預託配分事業	第1層(全市)
収入(円)	寄附金	前期末支払資金残			計
	4,000	25,000			29,000
支出(円)	助成金				計
	29,000				29,000
事業概要	市民からの寄附金・物品の受入、払い出し。市内で火災が発生した際に見舞金を払い出す				
事業報告	●物品【預託】36件(介護用紙おむつ、パット、下着、衣類、米、食料品、自転車用空気入れ、トロミ粉、食事用エプロン、日用品(キッチンセット、ハンドソープ、ティッシュ、ゴミ袋など) ●物品【払い出し先】29件(介護保険事業所、ヘルパー事業所、介護保険施設、生活困窮者、生活保護受給者など) ●金銭預託(ボランティア運営事業へ) 2件 4,000円 ●火事見舞金 2件 20,000円 ●サンカフェ協力者へ 9,000円 ●次年度繰越金 繰越金3,213,446円+今年度預託金4,000円-払出29,000円=3,188,446円				
R6振り返り	通常の寄付物品もたくさんいただき、必要な方や事業所に払い出しをした。				

(1304)つながりの輪づくり推進支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	つながりの輪づくり推進事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	104,000				104,000
支出(円)	事業費				計
	104,000				104,000
事業概要	ボランティアセンター運営委員会を中心につながりづくりを推進する。				
事業報告	【ボランティアセンター運営委員会 全体会】 R6年7月10日(水)、R6年12月9日(火)、R7年3月18日(火) 計3回開催 ●ボランティア研修会 『絵本がもっと楽しくなる！読み聞かせボランティア研修会』 R7年3月15日(土)34名(運営委員4名含む)社協職員3名 福井県立図書館子ども読書推進室長 田中 智美 氏を講師に、実際に読み聞かせボランティアを行っている方、これから始めたいと考えている方、自分の子どもや孫に、どんな本を読み聞かせたらよいか悩んでいる方など、普段の生活でも役立つ内容を学ぶ研修会を開催。				
	【ボランティアセンター運営委員会 広報部会】 R6年9月5日(木) 計1回開催 ●ボランティアセンター周知 ・すこやかフェスタ R6年10月12日(土)(子どもボランティア受付、コドングッズ販売・収集物品受付) ・チャリティー映画会 R7年3月8日(日)(コドングッズ販売) ●第39回チャリティー映画会「銀河鉄道の父」 R7年3月8日(土)上映				
	【ボランティアセンター運営委員会 企画部会】 R6年9月5日(木) 計1回開催 ●福祉学習交流会 R6年11月16日(土) 小学4年生3名、障がい者7名、運営委員5名、県立大学実習生1名、事務局4名 市内の小学4年生と障害がある方とがモルックやカレー作りを一緒に取り組むことでお互いを知り、理解する機会とした ●ボランティア団体交流会 R6年11月8日(金)→ボランティア団体交流会を企画するも、申込人数が少なく、交流会にならないと判断し、開催中止となる				
					
R6振り返り	ボランティアセンター運営委員会が企画する研修や各種行事の内容について運営委員と共に企画や検討を重ねた。 年度末に年間活動の振り返りを行い、今年度の実施内容を踏まえ、次年度の事業継続や開催内容検討が必要など、委員から出た意見を次年度活動検討の際に活かしていく。				

(1305)地域いきいきボランティアポイント事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	地域いきいき ボランティアポイント事業	地域いきいき ボランティアポイント事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,548,000				1,548,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	1,250,000	162,000	136,000		1,548,000
事業概要	高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進するために、高齢者に関するボランティア活動をポイント制にし、集まったポイントを商品券などに換金する				
事業報告	【研修】 ●地域いきいきサポーター養成講座 R6.7.31(月) 参加者10名 内容:「ボランティアってなに?と高齢者を取りまく現状」 講師:勝山市健康体育課職員、勝山市社会福祉協議会職員 ●地域いきいきサポーター養成講座 R7.3.26(月) 参加者10名 講演:「健康長寿と社会的なつながりの関係」 講師:福井県立大学福祉学部 教授 塚本 利幸氏 【ポイント事業】 ●参加登録者数・・・男性/13名 女性/68名 合計/81名 ●ポイント引き換え者・・・68名 ●引き換え額・・・136,000円				
	  ●主な活動内容 介護保険施設での活動（縫製ボランティア、レクリエーション補助等） 各地区サロンでの活動（企画、運営、話し相手等） 認知症カフェでの活動（サンプラザ内:まちなかcafé、サン広場等） 近所や地区での活動（ゴミ出し、買い物支援等）				
R6振り返り	・買い物支援ボランティアで活動される新規の方が増えたことにより、登録者と交換者は昨年より増えた。 ・コロナウイルス感染症も5類に移行され、ボランティアの方々の活動先を増やし介護保険施設等にもボランティア受入再開してもらえるよう、各施設のボランティア受入状況を確認し活動先一覧を作成した。一覧は、研修会等で配布と掲示を行った。				

(1404)福祉育成・援助活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	福祉育成 援助活動事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	階層区分間繰入金			計
	1,550,504	300,000			1,850,504
支出(円)	事業費	当期資金収支差額			計
	1,373,667	476,837			1,850,504
事業概要	すこやかフェスタの開催				

事業報告

●すこやかフェスタ開催事業 令和6年10月12日(土)ジオアリーナで開催

地域・団体・住民組織等が連携を深め「人と人とがつながる元気の出るまちづくり」を目指して開催。今年度はコロナ禍前のように飲食可能として、会場は昨年に続きジオアリーナで開催し、出店者はキッチンカーも含め64店、来場者は概ね4,000人。

すこやかフェスタ開始前に勝山市社会福祉協議会会長表彰式を行い、社会福祉事業への貢献が顕著な団体・個人に対して表彰した。

ステージイベントに、トランペットヒーローズによるトランペット演奏と、勝山市内3中学校吹奏楽部による演奏が行われた。

出店では、地区社協、市内のキッチンカー、福祉施設による利用者の作品展示、市こども課健康体育課による赤ちゃん写真・手形展、市内住民のハンドメイド作品販売などがあり、全世代が関わり、福祉や社協に関心を持ってもらえるよう募集した。

市内小中学生によるボランティアを募集し、24名の参加があった。ボランティアには、出店ブースに入ってもらい各店舗でお手伝いをいただいた。

R6振り返り

当日はたくさんの来場があり、大盛況で終わることができた。

赤い羽根共同募金の配分を受けて開催しているため、周知もかねて赤い羽根共同募金ガチャを企画した結果、たくさんの方に募金していただけた。

駐車場誘導業者に駐車場管理を委託したことと、昨年より駐車場を増設したことが功を奏し、昨年のような苦情は寄せられなかった。

(1405)歳末たすけあい配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	歳末たすけあい配分金事業	歳末たすけあい配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金				計
	2,060,098				2,060,098
支出(円)	事業費	配分金事業	当期資金収支差額		計
	382,464	1,480,000	197,634		2,060,098
事業概要	民生児童委員に要援護世帯調査を依頼、準要保護世帯については教育委員会に協力要請を行い、対象となる援護を要する世帯から申請をもらい、個別配分の可否を委員会で審査、可世帯に対し個別配分を行う。その他の配分先は、「歳末たすけあい配分委員会」で検討、決定される				
事業報告	配分委員会【1回目】8月6日【2回目】9月24日【3回目】11月25日				
		対象者	人数	金額	備考
	個別配分	要援護世帯	139世帯	1,390,000	@10,000
		遺児	18名	90,000	図書券@5,000
		低所得者等支援		98,381	生活困窮者等食糧等備蓄
	事業費配分	地域福祉事業(モルック大会)		87,048	楽しみながら地域交流を図る
		貸出機器管理・用品費		68,280	貸出機器修理費・付属品の購入等
		事務経費及び広報費等		128,755	切手・封筒購入、広報費等
	合 計			1,862,464	
	【第1回モルック大会の様子】				
	 				
R6振り返り	個別配分は要援護世帯1世帯につき10,000円を配布することができた。 米の高騰もあり、生活困窮者等備蓄品は米も備蓄をした。 個別配分は申請式だが、個人情報を取り取りにくい時代となり十分な聞き取りができず民生委員の負担が大きいとの声があったため、個別配分の在り方について配分委員会で検討を行った。結果、例年通りとなったが、民生委員にも歳末助け合い募金の趣旨を何度も伝えていく必要があると感じた。 ジュニアシートを新しく2台購入し、貸出希望に応えることができた。 楽しく地域交流を図る場として、「第1回モルック大会」を開催し盛況に終えることができた。				

(1406)ボランティア活動育成事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	ボランティア活動育成事業	ボランティア活動育成事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末支払資金残			計
	0	139,328			139,328
支出(円)	事業費	助成金			計
	89,328	50,000			139,328
事業概要	ボランティアセンター事業の一環。ボランティア活動者(登録者)等を対象にボランティア活動や地域の貢献について、学びの場の提供				
事業報告	●ボランティア団体交流会 →R6年11月8日(金) ボランティア団体交流会を企画するも、申込人数が少なく、交流会にならないと判断し、開催中止となる →運営委員会でも今後の団体交流会の在り方について検討した。				
	●ボランティア研修会 →R7年3月15日(土)34名(運営員4名含む)・社協職員3名 『絵本がもっと楽しくなる！読み聞かせボランティア研修会』 *再掲 福井県立図書館子ども読書推進室長 田中 智美 氏を講師に、実際に読み聞かせボランティアを行っている方、これから始めたいと考えている方、自分の子どもや孫に、どんな本を読み聞かせたらよいか悩んでいる方など、普段の生活でも役立つ内容を学ぶ研修会を開催。 グループワークや演習では、活動しているの困りごとや、悩みなどを共有され、皆さん共感する点が多くあったようで、頷きが多く見られた。 参加者のアンケートでも「気になっていたことが分かり腑に落ちた」「次回の読み聞かせが楽しみになった」との声があり、今後のボランティア活動に役立ててもらえる研修になった。 周知方法:①令和7年1月末時点ボランティア活動保険登録者 918名に郵送 ②いきいきボランティアポイント登録者 81名にお知らせ ③社協だより1月号にて広報				
R6振り返り	 				
	ボランティア団体交流会やボランティア研修会共に運営委員会で企画内容を検討し、実施した。しかし、ボランティア団体交流会は、参加申し込みが少なく、開催を中止せざるを得なかった。年度末に開催した運営委員会振り返り時に、団体交流会の在り方、開催時期の検討、ボランティア団体側が交流会という形を求めているのか確認することも必要など意見を出し合った。				

(1407)法外・災害援護配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	法外・災害援護 配分金事業	法外・災害援護 配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金				計
	30,000				30,000
支出(円)	助成金				計
	30,000				30,000
事業概要	行路者・火災被災者へ、見舞金等を渡す				
事業報告	●行路者援助(来所する行路者に対し、電車賃・バス代程度を渡す):0件 ●火災見舞(市内の火災被災者に対する見舞金):2件				
R6振り返り	全焼の火事2件(内死亡者1名)に対し、迅速に火事見舞金をお渡しした。				

(1408)まちなかCafé事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	まちなかCafé運営事業	まちなかCafé運営事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末支払資金残			計
	400,000	151,151			551,151
支出(円)	人件費	事業費			計
	77,645	473,506			551,151
事業概要	社会的孤立感の解消及び誰もが気軽に立ち寄れる場所として、勝山サンプラザ内に居場所を設置し、運営する。また、社会福祉法人が実施する地域貢献事業としても位置付ける				
事業報告	・まちなかcafé運営委員会の開催 11/15				
	令和6年度 まちなかCafé利用者数				
		月	日数	総計	男性 女性 子供 高校生 中学生
	6年	4月	21	434	205 226 1 2 0
		5月	23	386	180 206 0 0 0
		6月	21	365	176 189 0 0 0
		7月	22	387	198 182 1 0 6
		8月	23	363	185 174 4 0 0
		9月	21	336	164 171 1 0 0
		10月	21	355	183 172 0 0 0
		11月	21	394	205 189 0 0 0
		12月	20	310	127 183 0 0 0
	7年	1月	19	334	147 187 0 0 0
		2月	20	296	127 169 0 0 0
		3月	22	395	172 220 3 0 0
				総計	男性 女性 子供 高校生 中学生
	1ヶ月 平均362.9人	254	4,355	2,069	2,268 10 2 6
	・年間254日開店 延べ4,355名利用				
	・ボランティア活動者 5名				
	ボランティア活動日: 月・水・金の午前、木の午後				
R6振り返り	買物終わりの一休み、仕事終わりの寄り道、日中の居場所など利用者の生活リズムの一つになっていることが伺え、引き続き居心地の良い居場所づくりを行っていく。サンプラザ2階“サンカフェ”の活動が定着したことで、まちなかcaféの利用が若干減少した。				



(1409)貸出事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分金事業	貸出事業	貸出事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	負担金	前期末支払資金残		計
	200,000	96,100	455,697		751,797
支出(円)	事業費	事務費	サービス区分間		計
	434,397	17,400	300,000		751,797
事業概要	車椅子対応の福祉車両の貸出、福祉用具、介護機器の貸し出しサービス				
事業報告	●乳幼児用品貸し出し事業 チャイルドシート(13件)ジュニアシート(1件)ベビーカー(0件)貸出 (昨年度 チャイルドシート(5件)ジュニアシート(2件)ベビーカー(0件)貸出)  チャイルドシート  ジュニアシート  ベビーカー ●リフト付き車両貸出事業 軽自動車(タント)41件 ワゴン車(ハイエース)19件 合計60件 ●介護機器貸し出し事業 〈物品貸し出し〉 車椅子 短期 63件、長期 14件、継続利用 10件 〈保有台数〉 車いす 51台、歩行器 1台、松葉杖 1 〈廃棄・処分台数〉車椅子 3台 ベッド 7台 ベッドマット 7枚 ●在宅障害者「ふれあいの部屋」・中途障害者「リラの会」開催時送迎支援  				
R6振り返り	ベッドについては令和6年度中に利用者の意向を確認し事業を終了した。 社協だよりにて貸出事業の周知行い、各貸出機器で貸出件数が増加した。今後も、定期的な周知が必要だと感じた。 車椅子 短期19件増 長期2件増 チャイルドシート 8件増 リフト付き車両 4件増 利用者からは、とても助かるという声が聞かれ、繰り返し利用される方が多くみられた。また利用された方からの口コミで、窓口に来られた方もいた。				

(1410)福祉教育推進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分金事業	福祉教育推進事業	福祉教育推進事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	県社協受託金	参加費収入	前期末支払資金残	計
	400,000	100,000	1,300	71,385	572,685
支出(円)	事業費	事務費	助成金		計
	159,905	22,780	390,000		572,685
事業概要	赤い羽根共同募金の配分と県社会福祉協議会の助成金を受け、市内小中学校の福祉教育に助成金を交付する。福祉教育推進に関する「福祉教育担当教諭研修会」の開催、小学校4年生(福祉を学ぶ学年)を対象とした「福祉学習交流会」の開催、全小中学校の訪問、各学校への「ゲストティーチャーの派遣」等に関する調整業務を行う。				
	●福祉教育担当教諭連絡会 小学校10校、中学校3校 それぞれ個別訪問し、福祉教育の取り組み説明や事例の紹介、勝山市地域ぐるみ福祉教育推進事業助成金の案内を行った。 ※勝山市地域ぐるみ福祉教育推進事業として、赤い羽根共同募金の配分を受け市内10小学校、3中学校へ助成金を配分した(1校30,000円) ●小中学校の授業やクラブ活動へ延べ118名のボランティア、保健師、保健推進員、ゲストティーチャー、地区社協コーディネーター、地域住民、保護者、職員等の協力のもと活動した ●学校との年間打ち合わせ回数 25回、年間授業・クラブ活動への支援回数 31回 依頼があった小中学校へ出向き、地域共生社会づくりに向けて取り組めるプログラムの打ち合わせを担当教諭と綿密に行った。 福祉の学習と高齢者理解のため、シニア体験、アイマスク、赤ちゃんお世話体験・妊婦体験等の疑似体験を行った。これらを通して「お互い様の関係づくり、人にやさしいまちづくり」を考えるきっかけとした。また、単発な学習ではなく、長期で取り組める内容になるよう、何度も打ち合わせを行い、1年間のストーリーを組み立てるよう学校や地域と連携して取り組んだ。 【内容抜粋】 ・妊婦、赤ちゃんお世話体験 ・シニア体験 ・ふれあいサロン見学 →見学後生徒主催サロン交流会開催 ・車いす体験 ・認知症サポーター養成講座 ・アイマスク体験 ・地域の方を笑顔にする音楽会開催 ●福祉教育担当教諭振り返りアンケート 福祉教育担当教諭に1年間の福祉教育を振り返るため、アンケートを実施した。アンケート結果は、次年度各学校個別訪問の際に資料としてお渡しし、活用していただく。				
R6振り返り	福祉担当教諭連絡会は各学校へ出向き個別に前年度の各学校の活動状況報告や紹介、今年度についての打ち合わせ等を行った。 学校により取り組む内容は様々だが、打ち合わせを密に行う事により、各学校の生徒や教諭の思いを聞き、学習のテーマや目的をもとに単発な学習ではなく、1年間通しての学習が組み立てられた学校が多かった。				

(1411)子育て世帯支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	子ども見守り宅食支援事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	寄付			計
	724,000	200,000			924,000
支出(円)	事業費	当期資金収支差額			計
	817,371	106,629			924,000
事業概要	日常生活において困難を抱えている家庭や、経済的に困窮・孤立化を余儀なくされている家庭等を支援するためフードドライブに取り組む。WAKU-WAKU映画祭を開催し、無料で小中学生に映画を楽しんでもらう。				
事業報告	【事業内容】 かつやまこども”WAKU-WAKU”映画祭開催 【実施内容】 ・WAKU-WAKUレンジャーの募集 →勝山南部中学美術福祉部の生徒に決定！ ・赤い羽根共同募金を知る ・WAKU-WAKUレンジャーと都度打ち合わせ →上映映画の選定・参加特典のおかしバイキング内容決め ・Tシャツデザイン制作 【開催日】令和6年12月7日 上映作品「ズートピア」 入場無料 参加者 166名 運営 23名   				
	【事業内容】 ひとり親世帯への食糧配布 【実施内容】 12月20日(金)～23日(火)10～12時／16～18時 【配分内容】 野菜セット、調味料セット、米5kg 65世帯(内2世帯米なし)  				
R6振り返り	WAKU-WAKUレンジャーを募り、レンジャーと一緒に企画運営を行い、映画祭を開催した。事業の一部は、共同募金の配分を受けていることの、啓発広報活動も行った。WAKU-WAKUレンジャー活動をきっかけに、年間を通して、サンプラザ2階サンCaféのボランティア活動を月2回行うなど、活動が広がった。 ひとり親世帯などの子育て世帯に対しての相談窓口として、「ひとり親世帯への食糧配布」を行った。家族構成や聞き取り内容から、気がかりな家庭の把握を行い、必要に応じて困りごとの相談窓口へつなぐことが出来た。				

(1501)生活福祉資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	460,000				460,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	202,000	257,000	1,000		460,000
事業概要	低所得者や高齢者、障害者の自立した生活を経済的に支えるとともに、世帯の福祉及び社会参加の促進を図る				
事業報告	[生活福祉資金] ●貸付相談件数 8件(前年度 相談件数 7件) ※生活困窮者自立支援事業担当職員とも連携して相談に対応した ●新規貸付件数 1件 ●償還完了件数 1件(福祉費1件) ●延滞利子支払免除件数 0件				
R6振り返り	学校の先生から教育支援資金の相談があり、教育支援資金支度金の貸付に至った。				



(1502)小口資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	償還金	受取利息	法人より		計
	135,390	180	3,000		138,570
支出(円)	事業費	貸付金	当期資金収支差額		計
	834	133,890	3,846		138,570
事業概要	当座の資金不足により生活が行き詰った方へ小口で一時資金を貸し付ける				
事業報告	延べ件数 ●貸付件数 31件 133,890円 ●返済金 27件 135,390円 ●貸付残のある方 9件 118,500円				
R6振り返り	貸付と償還を繰り返す方、給与日までの生活費が不足するなどの相談を受けた。相談内容によっては生活困窮者自立支援センター相談員と共に関わった。 相談時には必ず「収支表を自ら記入する」ことをルール化し、相談者の収支に対し自らが「気づく」ことができるよう支援した。返済については丁寧な相談対応に努めた。 併せて食料の現物配布支援なども実施し、少しでも相談者を支えられるよう、務めた。				

(1503)特例貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	3,250,000				3,250,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	2,975,000	258,000	17,000		3,250,000
事業概要	令和2年3月～令和4年9月まで行われた、コロナ特例貸付の償還が始まり、状況に応じて面談、聞き取りを行い、必要な支援につなげた。				
事業報告	フォローアップ支援 返済が始まっているが延滞している方に対し連絡、訪問(日中、夜間) 来所していただき、生活困窮担当同席のもと生活状況の把握。ケースによっては、償還猶予の対応、中には一括返済を約束する方などもいた。 償還を促し、振込用紙を送付。振り込んだ人もいた。 また、県社協と直接やり取りで免除に至った人もいた。				
	支援内容 償還免除:1件 償還支払猶予:2件 償還手続き:5件 償還相談:45件 未応答または償還困難な借受人に対するアウトリーチ:37件 償還免除者に対するアウトリーチ:18件 借受人(償還免除者含む)の生活状況の把握:31件 郵送不能者の現地状況確認:2件				
R6振り返り	借受人に対し、フォローアップ支援を行った。 他市町に転出していたり県外転出していたり(逆に転入者あり)と、借受人の移動があり、対応に苦慮した。また、生活状況を聞く中で返済可能なのに返済していない方がおり、振込用紙を送付し、返済を促すなどの対応を行った。				

(0601)生活困窮者自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	11,663,000				11,663,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	退職金	消費税
	9,580,000	380,000	53,000	620,000	1,030,000
					計
					11,663,000
事業概要	生活困窮者支援法に基づき、生活に困っている人からの相談を受け、抱える課題を把握し、本人の気持ちに寄り添いながら自立した生活を支える。また、必要な人には計画を立てて支援を実施する。関係機関や市役所内の各部署の連携が図れるように働きかける。困窮世帯へ向けて緊急食糧支援を実施。				
事業報告	生活保護に至らないようにするために生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として、包括的に支援を実施した。また、生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークの構築、働く場を広げていくことに努めた ●必要なアセスメント、プラン兼事業等利用申込書(案)を本人と共同で作成、支援調整会議で支援内容について検討、評価を行いながら包括的・継続的な相談支援 ・新規相談 16件 ・相談件数 述べ341件 ・生活保護につないだケース 3件 ・必要時に貸付相談へつなぎ 小口福祉資金 5件 ・支援調整会議 6回 ・食糧配分多数 (福井県・県民生協・歳末助け合い募金備蓄食品) ●広報・啓発事業の実施 ・社協広報誌「社協からこんにちは」R6.9月発行 ・令和6年度保護司会第2期地域別定例研修会 9月19日(木)15:00～ 1名 ・県立大学実習生受け入れ 11月5日～16日 ●関係機関との連携 ・奥越地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 5月20日 14:00～15:00 2名 ・生活福祉資金市町社会福祉協議会自立相談支援機関担当者会議 3月10日 15:00～16:00 ●相談員の研修 ・ひきこもり支援関係機関職員研修 5月10日、5月22日、12月6日 ・第11回生活困窮者自立支援 全国研究交流会 11月9日、11月10日 ●令和6年度生活困窮者等食糧支援事業 - ひとり親世帯130世帯へチラシ配布し、希望者に食料配分を行った。 ・12月20日(金)～24日(火)10～12時/16～18時 配分内容:野菜セット、調味料セット(63世帯) 米5kg(65世帯) 協力者:主任児童委員7名 勝山市こども課職員1名 ●生活困窮者への食糧支援 116世帯				
R6振り返り	 県民生協フードドライブ食糧				
					
R6振り返り	負債があり、ライフラインの支払いができないという相談、高齢の方や障害を持っている方の相談も多かった。立て直しを図ったが3名の方は生活保護につなげた。 就労意欲を引き出して就労につなげたり、年金や給付金などの手続きの支援をするなどして、生活基盤を整える支援を行った。 これまでも社協だよりなどにて制度の周知を行ってきたが、生活費がない状態に陥る前に早期発見につなげていきたい。 さらには、ひとり親家庭(約65世帯)へ食糧を取りに来ていただき、対面で話すことにより、家庭状況を確認し、新たに気がかりな家庭を把握することができた。				

(0602)生活困窮者自立支援・就労準備支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	就労準備支援事業	就労準備支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,997,000				1,997,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	消費税	計
	1,592,000	236,000	12,000	157,000	1,997,000
事業概要	「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に6カ月から1年の間、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行う				
事業報告	自立相談支援機関のアセスメントに基づき、就労準備支援の必要性がある方が対象となる ●アセスメントを行い、就労準備支援プログラム作成、月1回程度の振り返り評価を行いながら1年を基本として実施。 ・支援内容:日常生活自立に関する支援 ・社会生活自立に関する支援 ・就労自立、就労後の定着に関する支援 ・他関係機関との連携など ・就労準備支援室を毎週金曜日 13～17時開設 利用実績3件(うち就労2件) ・プラン作成までは至らなかったが相談対応9件 ●関係機関との連携 ・障害者支援センターとの連携 ・ふく福サポート事業との連携 ・ハローワークとの連携				
R6振り返り	収入がなく、仕事を探したいという相談はあるが、仕事をするにあたっての具体的な希望や行動につながらないため、相談支援にて本人の就労の意欲を引き出すなどの支援が多かった。制度の周知や対象者の発掘等、能力・意欲が低い方へのアプローチ方法を更に探していきたい。				



(0603)生活困窮者自立支援・家計改善支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者自立支援事業	家計改善支援事業	家計改善支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	3,940,000				3,940,000
支出(円)	人件費	事業費	消費税		計
	3,400,000	200,000	340,000		3,940,000
事業概要	自立相談支援機関において、経済的な問題に背景がある相談者に対して家計の視点から相談支援を行う。家計改善・家計再生プランを作成し、自ら家計を管理する意欲、能力を高め、経済的困窮より脱却できるよう支援していく				
事業報告	自立相談支援機関のアセスメントに基づき、家計改善の必要性があると支援調整会議で検討された方を相談対象とする。 ●アセスメントを行い、家計再生プラン(案)を本人と共同で作成し、支援調整会議で支援内容について検討し支援決定を受け、約1年間を基本として相談を実施。 - 支援内容: 家計計画表、キャッシュフロー表を作成し家計の見える化を行う 滞納(家賃、税金、公共料金など)の解消や各種給付制度利用に向けた支援 債務整理に関する支援(多重債務者相談窓口との連携) 貸付けのあっせん など - 制度説明・提案 11件 - プラン作成までは至らなかったが相談対応した件数 20件 ●関係機関との連携 - 日常生活自立支援事業 制度紹介3件 - ふく福サポート事業との連携 - 貸付(生活福祉資金・小口貸付・コロナ貸付)との連携				
R6振り返り	ライフラインの滞納解消や生活費が見える化することで貯蓄ができるようになった方もいたが、管理能力が低い方、改善意欲のない方が行動できるようにアプローチしていくことは難しく、何度も状況確認を行っている。 相談に来られて改善はできたが、また同じように家計のやりくりができなくなり再度相談という事案もあったため、継続しての状況確認を行っている。				



(0701)生活支援体制整備事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	10,276,000				10,276,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	助成金	計
	1,342,000	677,000	37,000	8,220,000	10,276,000
事業概要	助け合う地域づくりに向け関係機関ネットワーク会議の開催、生活支援コーディネータの設置、地域の課題解決の場と新たなサービスを構築をする。併せて、まちなかCaféを核にした支援を考える				
事業報告	【1層(市全体)の生活支援コーディネーターの活動】 ▶一人暮らし高齢者、高齢者世帯の生活支援サービスのコーディネート ▶地域いきいきサポーター養成講座 7/31 ▶地域個別支援 313回 ▶第1層協議体の開催(5/27)交通困難者への支援の現状について 参加団体:市役所、民生委員、まち館長、コミセン長、市内交通業者、老健、障害者施設、サンプラザ、中吉商店、地区社協、市社協 ▶関係機関とのネットワークづくり (1)勝山市総務課・福祉課・地域包括支援センター、民生委員、ケアブレイクかつちやま、市内社会福祉法人、勝山高校、勝山南部中学校美術福祉部、サンプラザ、 (2)地域ケア個別会議への参画 年4回 ▶まちなかcaféの運営(21ページに掲載) ▶サンプラザcaféのボランティアスタッフ調整 ▶買物支援体制の構築 平泉寺地区 買物支援事業「お買い物にいこうよ!」の実施 村岡地区 買物支援事業「地域の人と一緒に買い物に行こう」の実施 遅羽地区 お試し買物支援事業実施、6年度に本格実施予定 北郷地区 デマンドバスを使ってサンプラザへ買物支援 北谷地区 サロンで市外へ外出・買物 荒土地区 お試し買物バスサロンの実施 ▶市社協主催研修会 地域の居場所づくりセミナー(8/9) モルック大会の開催(12/15) 【2層(まちづくり会館単位)の生活支援コーディネーターとの連携した活動】 ▶ふれあいサロン、給食サービス、地域ぐるみ雪下ろし事業の実施や取りまとめ ●地区ごとの研修等の開催 ・市外で行われている買い物支援視察研修(村岡) ・防災に関する研修(遅羽、野向、北郷) ・介護方法を学ぶ研修(村岡) ・口腔ケア講座(平泉寺) ・悪徳商法とその対策講座(北谷) ・モルック体験会(勝山、荒土、鹿谷、北郷、猪野瀬) ●生活支援ネットワーク会議の開催(地区社協コーディネーター連絡会) 年12回 【その他】 ・福井大学医学科 地域包括ケア実習受け入れ 7月3日 ・社会福祉士実習生の実習受け入れ 11月1日～11月16日 ・コーディネーター研修会「平泉寺を学ぶ」7月1日				
R6振り返り	第1層協議体の開催により、市内の交通困難者への支援の現状を共有できた。また、事業所のニュースポーツ(モルック)が各地区で流行し、市社協主催で大会を開催。今まで社協に関わりの薄かった世代がたくさん参加してくれた。				

(1601)老人ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	老人ホームヘルプ事業	第1層(全市)
収入(円)	市補助金収入	介護保険	利用料	県補助金	過年度修正益
	87,920	21,253,189	3,402,154	89,858	21,942
					計
					24,855,063
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金
	18,294,314	2,043,302	232,435	0	982,000
	拠点区分繰入金支出	当期資金収支差額			計
	1,407,000	1,896,012			24,855,063
事業概要	介護保険法に基づく訪問介護事業の実施(家事援助、身体介護等)				
事業報告					
	年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
	派遣利用者数	487人	497人	438人	533人
	派遣回数	4914回	5542回	5777回	7817回
	稼働時間	3744時間38分	3824時間54分	4013時間49分	5098時間29分
	月	内容	特記		
	4月	令和6年度事業説明	利用者の立場を考え、支援できるよう、基本を再確認		
		倫理要領と法令遵守・プライバシー			
	5月	感染症対策・食中毒と衛生管理	ガウンの着脱、嘔吐物処理方法		
	6月	虐待・身体拘束防止	YouTubeを活用し、事例を視聴しチーム対応の大切さ		
	7月	介護技術	洗髪介助実技		
	8月	認知症	オンライン		
	10月	BCP	初動対応(ケアマネ合同)		
	11月	防災	災害時の調理方法		
1月	手順書の見直し	手順の確認の統一化			
2月	障害	病気の理解とヘルパーの役割			
3月	防災、一年のまとめ	個別配慮・新しい避難所			
* 研修の際には伝達会議も併せて実施した					
ケア会議参加 79回 ミーティング16回(月1～2回) サービス提供者会議 12回					
※降雪が続き、利用していた駐車スペースが使用不能となったが、県(コンビニ)、市(公共施設)の働きかけでスムーズに駐車し、訪問することができた。					
R6振り返り	年間通して新規利用者を積極的に受け入れ、収入増を図った。利用者は増となったが、一方で入所や死亡などによりサービスの終了者も多かった。また、看取りや短期利用なども受け入れた。市内の他事業所が受入れ不能となった利用者を受入れ、サービスを提供してきた。				

(1602)あんしんサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	あんしんサービス事業	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	過年度修正	前期末支払資金残		計
	141,000	8,000	51,000		200,000
支出(円)	人件費				計
	200,000				200,000
事業概要	施設利用の方が一時帰宅されたとき、または、介護保険対象外の方や、障害サービスで認められてないサービスを希望される方に対して、30分1,000円でサービスを提供する				
事業報告					
	年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
	派遣利用者数	20人	21人	44人	40人
	派遣回数	59回	158回	338回	324回
	稼働時間	90時間22分	91時間30分	148時間51分	153時間07分
	支援内容 ペットの世話(介護計画に基づく) 衣替え 安否確認(利用者の家族への支援) 通院介助(介護保険報酬対象外の部分) 買い物支援(障害者)				
R6振り返り	障害福祉サービスにつながるまでの間の利用や、介護保険では対応外となるサービスについてあんしんサービスを提供した。 急な入院時の入院準備や本人の生きがいであるペットの世話、老夫婦世帯の衣類購入や衣替え、本人のみでは困難な掃除などの依頼に対し、本人等の意思を尊重しサービスを提供したことで、本人の生きがいをサポートし続けることで、生活を支えられた。				

(1701)介護予防支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲												
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護予防支援	予防ケアマネジメント	第1層(全市)												
収入(円)	介護保険	前期末支払資金残			計												
	873,900	121,100			995,000												
支出(円)	事業費				計												
	995,000				995,000												
事業概要	介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業に基づく予防ケアマネジメントの実施																
事業報告	●介護予防件数実績 <table><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>介護予防支援</td><td>166</td><td>285</td></tr><tr><td>介護予防ケアマネジメント</td><td>29</td><td>95</td></tr><tr><td>＊初回加算</td><td>4</td><td>13</td></tr></table> ・委託費 1件4,380円 初回加算 1件3,000円						令和6年度	令和5年度	介護予防支援	166	285	介護予防ケアマネジメント	29	95	＊初回加算	4	13
	令和6年度	令和5年度															
介護予防支援	166	285															
介護予防ケアマネジメント	29	95															
＊初回加算	4	13															
R6振り返り	介護支援専門員1名が中途退職し、職員1名減になったため、今後継続した支援が困難であると判断し、20件のケースを委託元である地域包括支援センターへ戻した。そのため、委託費が減収となった。併せて、介護支援専門員一人当たりが担当する件数割合が増加した。																

(1702)介護給付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲											
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護給付	介護給付	第1層(全市)											
収入(円)	市補助金収入	介護保険	補助金	雑収入	長期前払費用返還金											
	87,920	20,132,560	2,000	3,000	120,670											
	過年度修正				計											
	20,070				20,366,220											
支出(円)	人件費	事業費	事務費	退職積立金	過年度修正											
	15,140,008	1,405,758	91,139	775,000	4,380											
	拠点区分繰入支出当期資金収支差額				計											
	2,188,000	761,935			20,366,220											
事業概要	介護保険法に基づき、利用者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の選択に基づき、適切な居宅介護支援サービスを提供する															
事業報告	●居宅介護支援費件数 <table><tr><td></td><td>年間計画</td><td>内要介護1～2 内要介護3～5</td><td rowspan="2">居宅介護支援費 要介護1～2 10,860円/件 要介護3～5 14,110円/件</td></tr><tr><td>R6年度</td><td>1,173</td><td>882 291</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>1,344</td><td>987 357</td><td>特定事業所加算 4～8月(Ⅱ)4,210円/件 9～3月(Ⅲ)3,230円/件</td></tr></table> ●令和6年度、4～8月専従3名、兼務1名の4名、9～3月専従2名、兼務1名の3名体制 ・24時間連絡体制、毎週ケアマネミーティング開催など ・業務のICT化にて、各職員にタブレットを整備、業務時間の短縮・スピーディな対応が出来た ●研修・会議参加 ・代表者会議 年4回参加 1名 ・地域ケア個別会議 オンライン 5/22 1名、8/21 2名(事例提供)、11・13 1名、2/12 1名 ・事例相談会 5/28 1名、9/19 2名、10/17 2名、12/19 3名(事例提供) ・多職種連携研修 12/18 2名、3/12 2名 ・奥越ケアマネ連絡会 総会、第1回交流会 結とぴあ5/11 3名(自主参加) ・県ケアマネ協会 総会・基調講演 サンドーム福井 6/8 1名(自主参加) ・奥越ケアマネ連絡会 研修会「災害研修」すこやか 9/28 2名(自主参加) ・第13回学術研究大会 12/12 1名 ・県集団指導 3/13 1名 ・BCP研修(ヘルパー合同) 10/30 3名、 ・ひきこもり研修 5/13 1名、5/22 1名 ・奥越地区障害者自立支援協議会相談支援連絡会 12/18 1名、1/15 1名、2/19 1名 ・認知症研修 オンライン 8/7 2名 ・虐待研修(ヘルパー内部研修)6/26 1名、ケアマネミーティング時伝達 3名 ・勝山市地域防災組織連絡会研修 教育会館 3/22 2名 ●奥越ケアマネ連絡会運営委員会 代表として参画						年間計画	内要介護1～2 内要介護3～5	居宅介護支援費 要介護1～2 10,860円/件 要介護3～5 14,110円/件	R6年度	1,173	882 291	R5年度	1,344	987 357	特定事業所加算 4～8月(Ⅱ)4,210円/件 9～3月(Ⅲ)3,230円/件
		年間計画	内要介護1～2 内要介護3～5	居宅介護支援費 要介護1～2 10,860円/件 要介護3～5 14,110円/件												
R6年度	1,173	882 291														
R5年度	1,344	987 357	特定事業所加算 4～8月(Ⅱ)4,210円/件 9～3月(Ⅲ)3,230円/件													
R6振り返り	8月末に職員1名退職し、3名体制となったため、特定事業所加算はⅡ→Ⅲ(ケアマネの減によるもの)へ変更した。また、他事業所へケースを11件引き受けていただくための引継ぎを行った。利用者の急激な体調悪化にて、入所・入院・死亡するケースが多く、要介護3～5の割合が低くなった(低いと減収となる)が、令和6年度より特別地域加算(15%)の対象地域となったためその分増収し、収益は当初予算よりわずかの減少にとどまることができた。															

(1703)要介護認定調査事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲												
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	要介護認定調査事業	要介護認定調査	第1層(全市)												
収入(円)	介護保険受託				計												
	188,100				188,100												
支出(円)	事業費	当期資金収支差額			計												
	188,000	100			188,100												
事業概要	介護保険法に基づき、要介護認定調査対象者を調査し、市へ調査票を提出する																
事業報告	●介護認定調査件数52件(前年比+7件) <table><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>在宅 (3,300円)</td><td>52</td><td>45</td></tr><tr><td>施設 (2,200円)</td><td>0</td><td>2</td></tr><tr><td>計</td><td>52</td><td>47</td></tr></table> ●認定調査員研修 オンライン 12月4日 2名						令和6年度	令和5年度	在宅 (3,300円)	52	45	施設 (2,200円)	0	2	計	52	47
	令和6年度	令和5年度															
在宅 (3,300円)	52	45															
施設 (2,200円)	0	2															
計	52	47															
R6振り返り	人によって認定期間が1～4年に広がり、年度ごとに調査件数にばらつきが出るようになった。月によっては、1～8件と調査件数に偏りがある。利用者の状態悪化に伴い、区分変更するケースもあったが、計画的に調査を実施することができた。調査を機にアセスメントを深め、ケアプラン作成につなげることができた。																

(1801)身体障害者ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害福祉サービス事業	障害福祉サービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	第1層(全市)
収入(円)	自立支援給付費	利用料	受託事業	過年度修正益	計
	18,067,096	195,501	376,564	24,607	18,663,768
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金
	11,583,938	1,011,302	99,516	0	1,024,000
	拠点区分支出	過年度修正額	当期資金収支差額		計
	3,191,000	0	1,754,012		18,663,768
事業概要	障害者総合支援法に基づく、訪問介護事業(居宅介護サービス、強度行動援護、同行援護、移動支援)				
事業報告					
		令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
	利用延べ人数	366名	307名	276名	267名
	延べ訪問総数	4238回	2568回	3797回	3038回
	通院等介護	71回	同行援護	49回	
	移動支援	56回	重度訪問介護	13回	
	ケア会議 64回 ミーティング10回 サービス提供者会議12回				
R6振り返り	親が要介護状態になったことで、障害者自身が家事を担う立場となっても自分で出来る事が少しでも増えるよう支援を行った。 また、障害者自身の健康管理にも対応できるよう、通院や受診介助、食生活の助言等を行った。同行援護サービスに対応するため、訪問介護員1名が新規で資格を取得した。移動支援サービスの利用を通し、買い物など自由に社会参加する事で心豊かな生活が送れるよう支援した。				

(1802)障害者計画・相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者計画相談支援	計画相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市補助金	自立支援給付	障害児給付	認定調査料	計
	87,920	3,944,980	997,930	121,500	5,152,330
支出(円)	人件費	事業費	事務費		拠点区分支出
	2,840,744	467,114	84,903		1,133,000
	当期資金収支差額				計
	626,569				5,152,330
事業概要	障害児・者の自立した生活を支え、課題解決やサービス利用のケアマネジメントを行う				
事業報告	計画相談支援・障害児相談支援は、13年目。昨年同様に相談支援専門員(兼務者)3名体制で対象者のプラン作成、障害程度区分調査(委託)を行った				
	相談支援給付費			入院時情報加算4件	
	[計画作成]	令和6年度	令和5年度	集中加算(同行)5件	
	障害者	68件	62件	集中加算(会議) 3件	
	障害児	29件	21件	初回加算 3件	
				認定調査委託25件 (前年度 22件)	
	[モニタリング]	令和6年度	令和5年度	単価	
	障害者	159件	161件	1件 5千円～6.9千円	
	障害児	20件	39件	(市町村により違う)	
R6振り返り	相談支援専門員の不足から、受任の依頼があっても対応できず、断わらざるを得ないことが増えた。しかし、市内の他事業所も飽和状態にある。当事業所のみでこの問題を解決するのは困難だが、この、しわ寄せが障害児・者本人に行くことを防ぐため、行政とも真剣に話し合いを重ねる必要がある。障害福祉サービスだけでない対応が増え、生活全体を支えることなどの支援も増えた。				

(1901)障害者相談支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者相談支援事業	障害者生活支援センター事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	5,180,600				5,180,600
支出(円)	人件費	事業費	事務費	退職積立金	消費税
	4,308,000	98,600	13,000	300,000	461,000
					計
					5,180,600
事業概要	障害を持つ方が地域で暮らし続けることを目的に適切な相談と支援を行う。また、奥越障害者自立支援協議会の運営に参画し、新たな資源の開発等を行う				
事業報告	●相談 訪問・同行52件 来所相談256件 電話相談494件 関係機関との相談・調整111件 ケア会議5件 ・勝山ケース連絡会 月1回(第3水曜日) ・奥越圏域就労支援連絡会 12回/年 開催 ・奥越地区障害者自立支援協議会 全体会 2回 運営会議12回 専門部会6回 ・部会内容 (i)発達障害・教育支援部会 2回 (ii)生活・居住支援部会 2回 (iii)日中活動・就労支援部会 2回 ・相談支援連絡会 年12回(行動援護サポート ワーキングチーム 年1回) ・ピアカウンセリング 年48回 ●委託相談支援事業(i)福井県自立支援協議会に参画 「障害者生活支援センター」のパンフレット 				
R6振り返り	行政や、他の相談員との情報共有を図るため、毎月連絡会を開催できた。ハローワークとも毎月ケース連絡会を開催。情報の共有ができた。 支援内容は、本人だけではなく家族やその背景なども踏まえながら、表面だけの支援にならないよう考慮し、支援を組み立て、対応することができた。また、支援が終了しても、定期的に連絡することで、関係を切らさないよう努めた。				

(1902)障害者社会参加促進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者社会参加促進事業	障害者社会参加促進事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金	参加費収入			計
	300,000	7,500			307,500
支出(円)	事業費				計
	307,500				307,500
事業概要	地域の中で障害を持つ方が生活しやすいように社会参加を促進する事業の展開と、家族や関係機関・地域での障害理解が進み、権利擁護できるように事業を通じて働きかける				
事業報告	・7/27 防災教室 参加者21名(内関係者5名) 講師:松村防災安全専門官 ・9/7 スマホの上手な使い方 参加者14名(内関係者5名) 講師:斎藤千栄美氏 ・11/30 料理教室(ケーキ作り) 参加者19名(内関係者5名) 講師:カトウケーキ屋(加藤祐二氏) ・たまり場café 毎週2回(月・水)13:00~17:00 93日開催 延べ利用者数139名 ・ITサポート相談 随時対応 ・当事者の会の育成 中途障害者「リラの会」、在宅障害者「ふれあいの部屋」支援 ・障害者生活支援センターホームページの運営管理 http://www.katuyama-sk.jp				
R6振り返り	「たまり場café」の利用者は、毎回楽しみに利用される方もいるが、見学に来られた方も数名いた。 防災教室やスマホの上手な使い方を学ぶ場を設けた。また、クリスマス時期には人気のケーキ作りを開催し、それぞれが楽しみをもてた様子であった。				



(2100)勝山市社協成年後見センター「ささえ愛」事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	成年後見事業	勝山市社協 法人後見事業	サポートセンター 「ささえ愛」	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	受取利息	前期末支払資金残		計
	1,889,000	2,723	1,892,713		3,784,436
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	3,538,849	226,502	19,085		3,784,436
事業概要	何かしら障害があっても、自分の地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らしていくための相談・支援				
事業報告	●新規受任件数 2件 ●終了件数 0件 現在10件(高齢3件、障害7件) ●相談延件数 6件 ●専門相談件数(司法書士) 延2件 ●運営委員会 2回開催 R6年8/21 R7年3/19				
R6振り返り	高齢の親が亡くなり、障害の息子さんが1人となったが、これまでも後見人としてショートステイの利用を促すなど対応してきたため施設入所への移行がスムーズに行えた。在宅で1人暮らしの障害の方が高齢になり、このまま在宅生活が継続できるかどうかなど人生の岐路となる大事な会議に同席することが増えた。状況に応じて親族に連絡し、相談しながら支援した。日常生活自立支援事業からの移行ケースがある場合は、運営委員会をきちんと開催し、審議していただけたことで、スピーディーに対応することができた。				



(2200)社協喫茶経営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	喫茶会計	喫茶会計	喫茶経営	第1層(全市)
収入(円)	売上金	受取利息	運用資産取崩し	前期末支払資金残	計
	1,875,685	2,072	350,000	218,127	2,445,884
支出(円)	人件費	事業費	事務費	運用積立へ	計
	1,082,356	1,349,672	13,650	206	2,445,884
事業概要	福祉健康センター「すこやか」利用者や地域住民の憩いの場として、創意工夫を重ね飲食の提供を行い、公益事業として経営の安定を図る				
事業報告	営業時間:月～金 9:30～14:00  営業中の風景 [メニューの一例]  カレーライス  3番入口外看板  たまご丼				
	喫茶検討委員会の開催(7/11)				
R6振り返り	検討委員会で出された意見を事業に反映させたが、売上につながるような変化はなかった。 自販機1台増設したが、売上は微増となった。				